

政策評価調書(22年度実績)

政策名	多様な教育の推進と未来を拓く青少年の育成		政策の目的等	学校・家庭・地域の連携・協働による教育を推進し、知・徳・体のバランスのとれた青少年を育成するとともに、県民の生涯学習を支える環境づくりをめざす。	主管部局名	教育庁
	政策コード	V-1			担当課室名	教育財務課

【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	少子化や過疎化の進行により児童生徒数が減少するとともに、教育を巡る課題が深刻かつ複雑化する中で、学校・家庭・地域の信頼と協働による教育の推進や青少年の健全育成、生涯学習社会の実現に向けた取り組みが求められている。
-------	--

【政策を構成する施策の評価結果】

施策名	評価結果		政策との関連度
	業績評価	主管部局評価	
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	概ね達成	拡充	◎
2 信頼と協働による学校づくりの推進	達成	拡充	◎
3 大学等高等教育の推進	達成	現状維持	○
4 生涯学習社会の形成と社会教育の推進	達成	現状維持	○
5 青少年の健全育成	達成	現状維持	◎

【構成する施策に対する意見・提言】

<p>○新大分県総合教育計画フォローアップ委員会での意見(H22.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度の低い子どもたちの底上げのためにも、補充学習など個別指導を充実すべき ・ティームティーチングや少人数指導などにより学力向上に取り組むべき ・施策の効果的な実施のためには行政と学校との意思疎通が重要 ・モデル事業終了後も取組を継続・普及させる仕組みが必要 ・幼児教育の一層の充実が必要 ・特別支援教育担当教員の増員や資質向上が必要 ・学校の教育環境の整備の充実が必要 ・総合型地域スポーツクラブの設置・運営には地域との一層の連携が必要 <p>○県政ふれあいトークでの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化のために小学校の存続が大事である(H22.11.10) ・地域の青年団が小学校長等と協力して夜間に補修学習をしている(H22.12.15) 	<p>○県政モニターの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策に算数の専科教員の配置を(H22.4.14) ・校長の授業観察により教員の意識を高め学力向上に役立ててほしい(H22.4.14) ・学力向上委員会の有効活用を(H22.5.14) ・教育奨励賞設置による県下の教育力向上が期待できる(H22.8.24) <p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H22.7.16人材育成部会、H22.7.29総合部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者の離職率も高い状態にあり、キャリア教育の必要性は増してきている。 ・最近の学校は、学校便りの地域配布や教職員の地域行事への参加等、開放的になった。 ・学校ボランティアは自分の生き甲斐であり、生涯学習のために学校に関わっていくといった気持ちを地域の人に持ってもらうことも必要。
---	---